

みなみ 11 ふらのの

2021. NOVEMBER No.788

- P 2~3 令和3年度上半期財政事情
- P 4 まちの話題出来事 (根室本線の鉄路存続を願い)
- P 5 " (フォレストタウン記念植樹祭)
- P 5 " (防犯荣誉銅章を受章)
- P 6~11 町議会定例会 行政報告・教育行政報告
- P 12~13 カメラレポート
- P 14 教育委員会通信
- P 15 南富高新聞、学校だより
- P 16 ほのお
- P 17 子育て支援センター「ぶっさ」だより
- P 17 保育所の元気な子どもたち
- P 18 地域貢献活動、寄附・寄贈



南富良野小学校
6年生劇(10月16日)

令和3年度 上半期財政事情

「財政事情の作成及び公表に関する条例」の定めにより、令和3年度上半期（4月1日から9月30日まで）の予算執行状況をお知らせいたします。
総務課財政係 ☎52・2112

まちの予算規模は？

全会計の予算総額は
57億7,099万6千円

9月30日現在の一般会計予算額は44億7,984万8千円で、当初予算から7,193万2千円増加しています。これは、新型コロナウイルス感染症対策事業などの補正を行ったためです。

また、6つの特別会計予算の合計額は12億9,114万8千円で、当初予算から1,355万5千円増加しており、全会計を合わせた本年度の予算総額は57億7,099万6千円となっています。

一般会計の執行状況 収入は・・・

一般会計の予算額と収入済額・支

した割合は51.9%で、中でも地方交付税は予算額24億1,419万8千円に対し、収入済額は18億5,000万円で収入全体の8割を占めています。

また、公営住宅改善事業などの財源に充てる国庫支出金は、事業が完了してから交付されるため収入割合は17%、同じく町有林整備などの財源に充てる道支出金の収入割合は28%となっており、町税の収入割合は65.1%、道の駅再編事業などの財源に充てる町債（借金）は、来年3月以降に借入れるため9月30日までの収入はありません。

支出は・・・

公営住宅改善事業などを含む土木費の支出総額は8,865万7千円で予算額に対する支出割合は20.1%、借金を返済する公債費の支出額は4億2,223万4千円で53.8%、また、特別職と一般職員に給与や手当を支払う職員費の支出済額は2億8,694万8千円で48.7%などとなっています。

一般会計全体の予算額に対する支出割合は46.2%で、前年度同期の46.1%とほぼ同じ割合となっています。

町税の収入状況（令和3年9月30日現在）

税目	予算現額	収入済額	収入割合
町民税	1億1,338万3千円	6,023万5千円	53.1%
固定資産税	1億3,354万1千円	9,914万2千円	74.2%
軽自動車税	701万7千円	690万3千円	98.4%
町たばこ税	1,533万4千円	896万2千円	58.4%
鉱産税	26万6千円	16万3千円	61.3%
合計	2億6,954万1千円	1億7,540万5千円	65.1%

出済額の内訳は「表1」のとおりで、予算額に対して9月30日までに収入

特別会計の執行状況

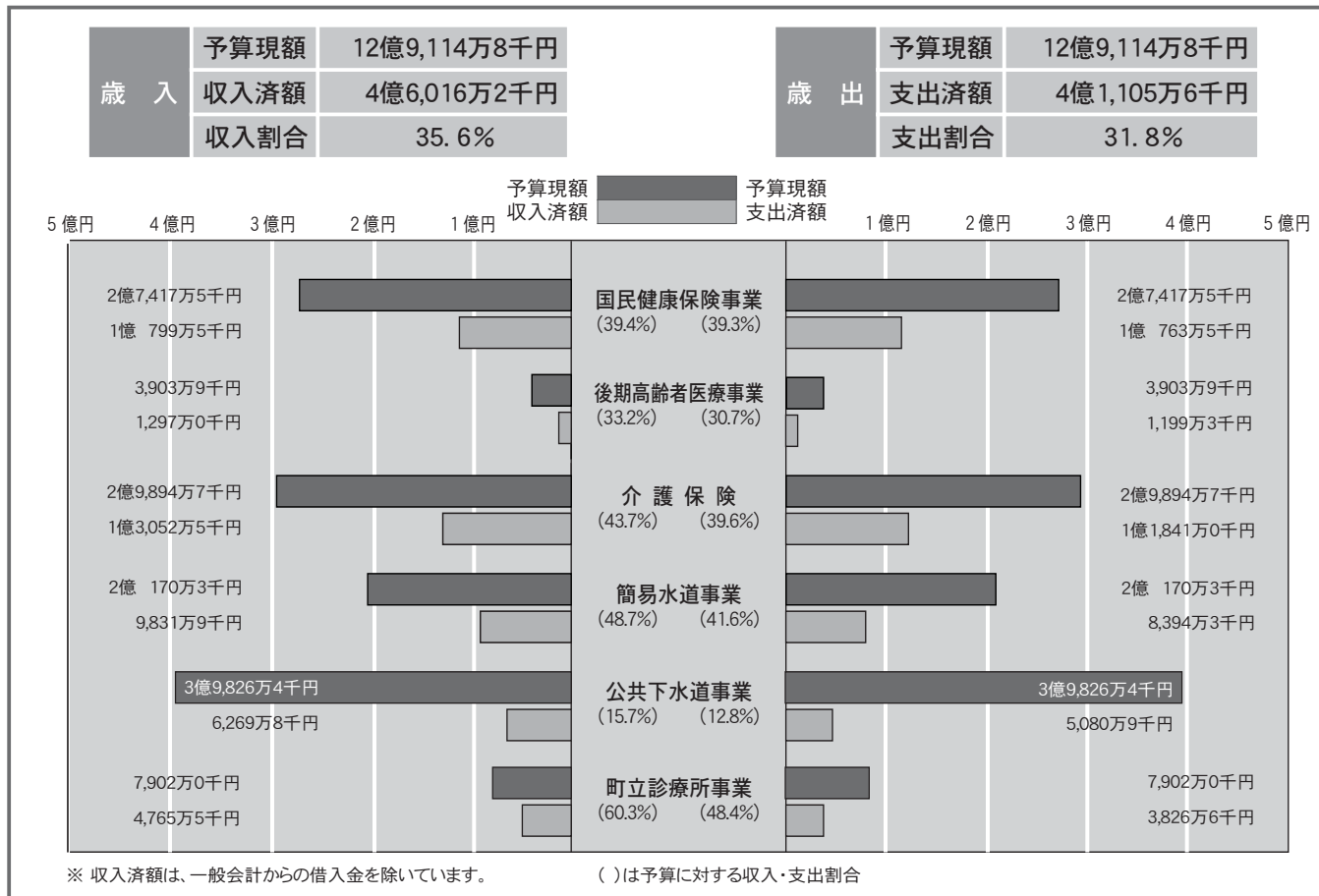
一般会計とは別に健康保険や上下水道などの事業を行う特別会計の予算額と収入済額・支出済額は「表2」のとおりとなっており、特別会計全体の予算額に対する支出割合は31.8%で、前年度同期の35.4%とほぼ同じ割合となっています。

前年度からの繰越予算

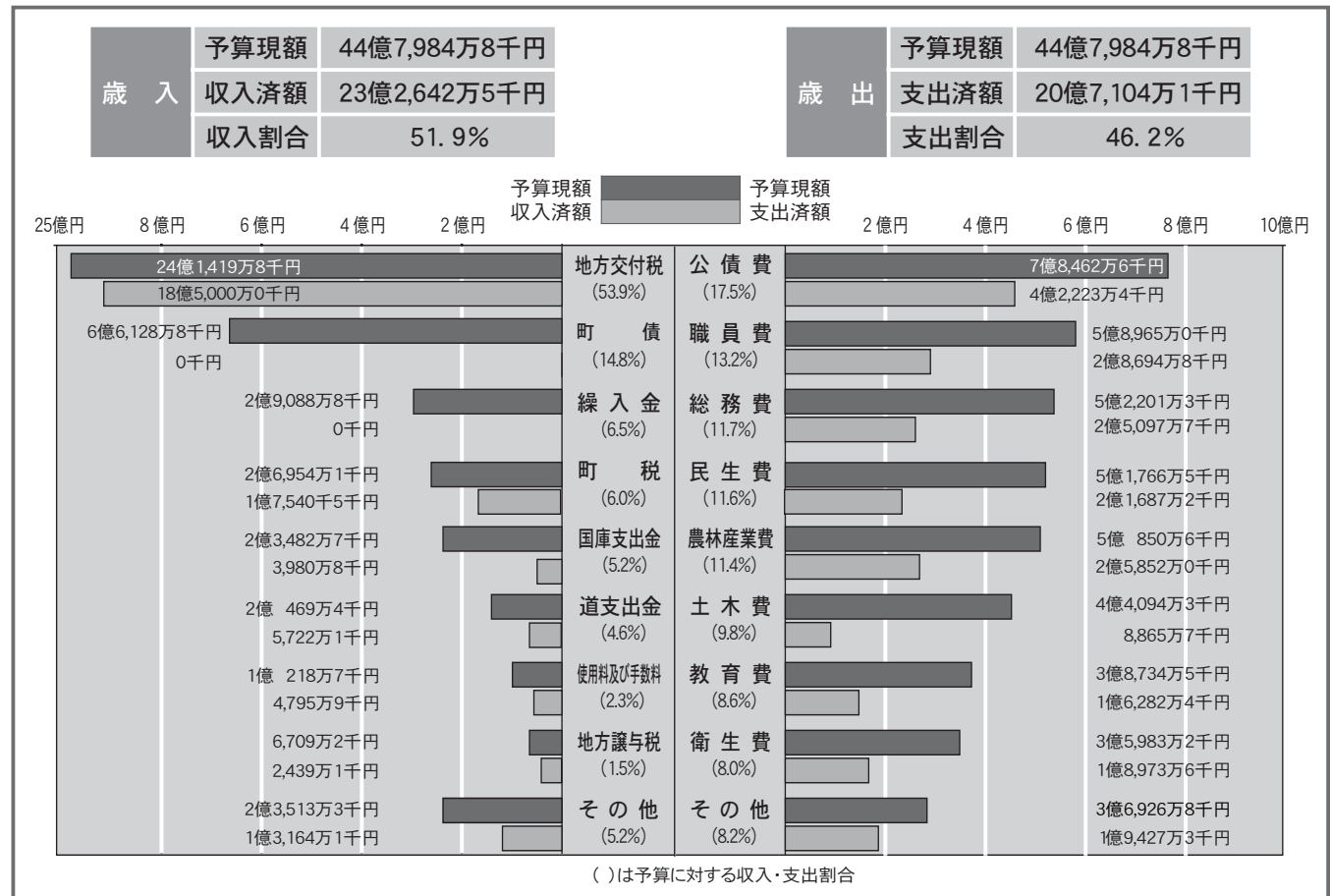
このほか、一般会計の前年度予算のうち事業費を翌年度に繰り越した新型コロナウイルス感染症対策事業や道の駅を核としたまちの賑わい拠点施設整備事業、旧金山小学校校舎体育館改修工事などの繰越予算が12億2,879万9千円あり、これらの事業の財源に充てる国庫補助金などの収入済額は1億3,381万円、繰越予算額に対する収入割合は11.1%、支出済額は4億2,008万9千円で支出割合は34.9%となっています。

繰越予算と本年度の全会計予算を合わせた町全体の予算総額は69億7,387万5千円となり、収入済額は29億2,039万7千円で収入割合は41.9%、支出済額は29億2,18万6千円で支出割合は41.6%となっています。

【表2】各特別会計予算の執行状況（9月30日現在）



【表1】一般会計予算の執行状況（9月30日現在）



根室本線の鉄路存続を願う

5年 復旧を!



新たな道の駅の建設が進む工事フェンスに、根室本線の鉄路維持を願ったイラストと町のメッセージ等を掲示 (写真 千里大学の生徒の皆さん)

町では、道の駅再編整備事業として新たな道の駅の建設が進む工事フェンスに、JR根室本線の鉄路復旧と開通100年に感謝する文言や高齢者大学「千里大学」の生徒の皆さんが描いた絵のほか、町のメッセージを掲げました。

平成28年の台風豪雨により本町が水害の被害を受けた後、千里大学では、この時の被害を次代に語り継ぐため、被災の様子を紙芝居にして小学校で披露してきました。

この被災により、JR根室本線の東鹿越々新得間が不通になり5年が経過し、現在、鉄路の存廃問題となっております。

また、本年、根室本線が根室駅まで鉄路が延伸し、現在の路線名に改名されてから、開通100年を迎えました。

工事フェンスには「災害から5年鉄路の復旧を!」「ありがとう!根室本線開通100年」と



鉄路復旧の文言と被災の様子の絵



感謝の文言と狩勝峠を越える汽車の絵

根室本線は、1921年(大正10年)8月5日に根室駅まで延伸され、同時に線路名称が「根室本線」(滝川-根室間)に改められ、今年で開通100年を迎えました。建設当時は、まだ機械力の発達していない頃であったので多くの犠牲者のもと、開通となりました。

また、南富良野町は、鉄道開通に伴い、本州から集団移民等の方々定着し、その後、第1次産業を中核とする経済活動の進展などにより、躍進の時代を迎え、時は流れ、金山ダムの建設により、3つのトンネル新設と26橋が架設されるなど、本町発展に根室本線は大きく寄与していただきました。感謝とお礼を心から申し述べます。

「本当にありがとうございます。」

そして、これからも、本町の発展に力を貸してください。

町のメッセージ 南富良野町

結婚やお子さんの誕生を記念して

「フォレストタウン記念植樹祭」

10月2日「フォレストタウン記念植樹祭」が、金山小果樹農園で行われました。

この事業は、結婚やお子さんの誕生など、記念すべき事柄があったご家族が、町民参加の森づくりを目的に、これまでかなや湖畔のフォレストタウンの森で275本の記念植樹と、昨年度からは、町内で栽培されている果樹にも親しんでもらうため、金山小果樹農園で26本の記念植樹を行いました。

植樹祭には、昨年7月から今年6



月までに結婚された方や、お子さんが誕生されたご家族7世帯、29名が参加し、雨がぱらつく天気でしたが、約1・5メートルほどのサクランボの苗木を、ご家族で協力しながら植樹していました。

植樹後には、全員で記念撮影を行い、参加した皆さんへ木製の額に入った記念証と金山小果樹農園で栽培されたぶどうが贈呈され、わが子の成長と共に、今後の苗木の成長を楽しみにしながら会場を後にしました。



防犯荣誉銅章を受章

佐藤茂さん(幾寅)

多年にわたり富良野地区防犯協会連合会副会長として活躍されています佐藤茂さん(幾寅)が、(公財)全国防犯協会連合会による防犯荣誉銅章を受章され、10月11日(月)に富良野市保健センターで伝達式が行われ、富良野地区防犯協会連合会より表彰状及び記章が贈られました。

この章は、地域安全活動に尽力され、安全で安心な街づくりに著しく貢献された方に贈られ、北海道内では本年度24名が受章されました。

佐藤さんは、平成13年に町防犯協会幾寅支部長に就任、平成14年からは同協会副会長を歴任し、平成19年から現在にかけ同協会会長及び富良野地区防犯協会連合会副会長として、自らが先頭に立ち地域の防犯活動の高揚、暴力追放運動や多岐にわたる犯罪防止活動の推進に尽力されてきました。また、町民の皆さんからの信頼も厚く地域安全活動推進委員のチーフリーダーとして、防犯パトロールや地域懇談会などの防犯活動により、地域の犯罪防止に多大な貢献をされたことが認められ、この度の栄えある受章となりました。



町議会定例会 行政報告・教育行政報告

令和3年9月13日から開催されました町議会第3回定例会において、池部町長が6件の行政報告と岩淵教育長が7件の教育行政報告を行いました内容についてお伝えします。

町長の 行政報告



■JR根室本線の災害復旧と路線維持をめぐる情勢について

JR根室本線の災害復旧と路線維持については、滝川市、赤平市、芦別市、富良野市、南富良野町、新得町、

占冠村の4市2町1村により構成された「根室本線対策協議会」が中心になって災害復旧の早期実施と滝川新得間の路線維持を基本にして、JR北海道をはじめ、国や北海道に対し要請活動や鉄道利用促進に関する様々な取り組みを展開しているところでありました。

しかしながら、去る7月6日に根室本線対策協議会総会が開催され、総会の席上におきましてJR北海道から協議入りの申し入れがありました。

その内容については、「根室線富良野新得間については、輸送密度2000人未満なっており利用が極めて少ないことから、鉄道より他の交通手段の方が適している」とJR北海道は考えており、鉄道の存続も含めて

この区間のあり方を協議させてほしい」ということでありまして、加えて「鉄道を復旧・維持継続する場合は、鉄道運行に必要な収入の不足分となる必要年額10.9億円を関係自治体で負担してほしい」と、さらに、不通区間の災害復旧に際しては、砂防堰堤や河川堤防の新設が必要などがあることがあり、所管する関係機関で整備してほしい」との説明がありました。

また、鉄道に代わる交通手段に関する内容は、具体的内容として、鉄道は大量輸送を前提としたものであり、一方バスについては、二ノ子にのびた自由度の高いルートやバス停、ダイヤの設定がしやすく、鉄道よりも運営コストは低いと考えており、もしバスへの転換を行う場合にはJR北海道が運行開始後の一定期間について支援金を拠出する用意があるとの説明もされました。

加えて、この総会に同席しておりました、JR北海道の監督官庁である北海道運輸局から発言がありました。その内容は、「根室線の富良野新得間のいわゆる赤線区の扱いについては、国からJR北海道に平成30年に監督命令を出しており、その際に富良野新得間は、JR北海道の示した計画の中で、持続的な交通体系を

換を進めていくことになっておりますので、国としては富良野新得間の鉄路に關して支援の対象となっていない状況であり、今後、赤線区については、地域において持続可能な公共交通体系の構築に向けた議論を進めていただきたいと思います。」とのことでありました。

また、広域自治体の北海道からは、「黄線区も赤線区もオール北海道で路線の存続を国に要望してきたが、赤線区に對する国の支援が無い」ということを踏まえること、地域として今後の地域交通の確保に向けた具体的な検討をする必要があるのではないかと、という内容の発言がありました。

これらの発言を受けました、根室本線対策協議会としては、これまで富良野新得間も含めて、国の支援措置を期待して鉄道の存続を前提に災害復旧の要請活動や鉄道利用の促進など活動を展開してきたところでありましたが、富良野新得間については、国の支援が無いことがはつきりと示されたことから、総会場で協議の結果、国の支援が無い中でのこの鉄路の問題を議論していくためには、JR北海道にも具体的な協議を進めていく必要があるという結論に至りまして、本町と富良野市、占冠村、新得町の4市町村に国と北海道を加え、

ついでには、国の支援が無いことが既に示されており、JR北海道が示した負担金は多額で、国の監督命令もあり、これらのことを鑑みまして、これらの方針を踏まえても、鉄道存続のハードルは相当高く、実現は極めて困難な道であると考えざるを得ないところでありました。

国内では、デルタ株の影響もあり、新型コロナウイルス新規感染者数は増加し、減少の兆しが見えない状況にあり、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言が発令される都道府県も増加してきている状況にあります。

北海道におきましては、7月12日にまん延防止等重点措置が解除されたものの、3週間後には、新規感染者数の増加などから、再度まん延防止等重点措置を受け、その後も新規感染者数が増加、医療供給体制のひっ迫など、感染防止対策による効果が見えない状況のなか、8月27日から緊急事態宣言が発令されたところでありました。

■新型コロナウイルス感染症対策について

本町における新型コロナウイルス感染症対策につきましては、国における「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」に基づき、北海道が示す対策と町独自の対策を実施し、併せて、国が進めております新型コロナウイルス感染症の発症や重症化の予防に効果のあるワクチン接種や町内事業所における唾液によるPCR検査を進めてきたところ

あります。町内では、緊急事態宣言を受け「南富良野町新型コロナウイルス感染症対策本部会議」を開催し、緊急事態宣言中における公共施設の利用方針や行事、会議等に関する方針を定め、商工会に對しましては、対策への協力要請、住民の皆様には、注意喚起のチラシを配布し、新型コロナウイルス感染症の防止対策への協力をお願いしたところでありました。

町内では、緊急事態宣言中における、北海道の対策につきましても、北海道は広大な面積を有していることから道内一様の対策ではなく、札幌市、小樽市、旭川市、石狩振興局管内の市町村を特定措置区域に、その他の地区を一般措置区域として指定されています。

町内の飲食店や宿泊施設、観光業等の事業者の皆様には、度重なる休業や時短営業の要請を受け大変厳しい経営環境にありますが、感染拡大防止や自分自身や大切な人の命を守る対策として、要請に對しご理解とご協力をお願い申し上げます。次に、新型コロナウイルススワクチン接種会場

町民に對する早期ワクチン接種も期待されてきたところでありました。本町におきましては、国のワクチン量の不足から、町が要望していた時期にワクチンが供給されなかった状況もありましたが、65歳以上の高齢者につきましては、国が示す7月末までに接種を終え、60歳から64歳まで及び59歳以下の基礎疾患を有する方、それ以外の対象者の方など順次年齢を引き下げ、ワクチン接種を希望される方全員に接種を行い、9月14日をもって終了する予定となっております。



自治会代表者会議

自治会代表者会議

JR北海道の申し入れを受けける形で、鉄道の存続と併せて新たな交通体系についても、検討を進めていくことになったところでありました。

また、富良野幾寅間を存続させるとした場合の負担額について示すようJR北海道に求めているところ、年間維持費の負担額として5.7億円という金額がJR北海道から示されたところでもあります。

の回復を目指し、更には、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、4月から9月までの6ヶ月間、1回の唾液によるPCR検査を、町内の希望される事業所に勤務される職員や南富良野高等学校の生徒に実施してきたところであり

これまで、町内の56事業所、延べ3,308人の検査を実施し、検査結果につきましては、全てウイルスの確認が無いとの結果報告を頂いたところであり、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発令されるなか、新型コロナウイルス感染症と対峙しながらの生活や仕事という状況の中、PCR検査を行うことにより、町内や職域において安心して生活や仕事を行うことができたものと考えているところであり、今後も町内の感染防止対策に取り組みとともに、事業所等におきまして、これまでの感染防止対策の継続をお願い申し上げます。

次に、飲食店等応援券の利用状況並びに飲食店等持続化応援給付金の給付状況についてご報告申し上げます。

はじめに、地域経済の早期回復と町内消費の活性化を図るために実施した「飲食店等応援券事業」の利用状況についてご報告申し上げます。8

月27日現在、配布した応援券の全体金額2千312万円の内、利用金額が7百77万円で、33.6パーセントの使用率となっております。今回は、町民の購買ニーズにお応えするよう全店使用可能券を配布し、利用範囲を制限なく幅広くすること、利用しやすくなるよう配慮しております。また、9月からはテイクアウトメニューを充実させ、幾度地区以外の方々にも飲食店を利用いただけるよう宅配事業をはじめております。利用期限も翌年3月末日までに設定するなど、余裕を持って利用出来る環境を整えて、使用率向上を図り、町民の皆様にご喜んでもただける事業となるよう努めております。

次に、町内飲食店等の事業者に対し、事業の継続と従業員の雇用を守り、持続して経営が行われるようにする目的から実施いたしました「飲食店等持続化応援給付金事業」については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、令和元年度と2年度を比較し、売上が減額となった商工会員37事業者から申請があり、7月30日までに合計925万円の給付が完了しております。内訳としては、飲食・宿泊業の17事業者には415万円、サービス業の14事業者には345万円、小売・卸売業の

9月1日現在の農作物の生育状況について

農業委員会の作況調査報告により、3月2日から3日にかけて大雪がありました。融雪は順調に進み、町内全体では、平年より9日早い4月7日に融雪期を迎えております。

融雪後の5月上旬では、平年並みの気温で降水量も少ない状態であり、作付けも順調に行われたところであり、5月中旬から、6月上旬において低気圧の影響により、気温も低く降水量もかなり多くなりました。

6月中旬から7月下旬については、気温が高い日が多く、降水量についても全般的に少なく、特に7月中旬及び下旬はほとんど降雨がなく、圃場全体で干ばつ傾向が見られるなど、各地域で作物の生育に影響が出たところであり、

主な作物の生育状況について申し上げますと、水稲は、5月中旬からの日照不足で心配されておりましたが、順調に成熟され作況指数は「105」で作柄は「やや良」と判断されております。馬鈴薯については、干ばつの影響により小玉傾向にあり、作況指数は「90」で作



農作物作況調査

柄は「かるい不良」と判断されております。

人参加については、馬鈴薯同様干ばつの影響があり、作況指数は「80」で作柄は「かなり不良」と判断し生育に大きく障害があると判断されております。

麦類については、ほぼ平年反収を確保しているのが秋まき小麦で、作況指数は「103」で作柄は「やや良」、二条大麦は穂数が少なく丈も短い状態であり、作況指数は「70」で作柄は「かなり不良」と判断されております。

そばについても、干ばつ影響があり、実の入りが悪く大幅な減収が見込まれることから、作況指数は「50」で作柄は「はなはだしい不良」と判断されております。玉ねぎについては、玉が小さく、日焼け症状が多く腐敗も目立っており、作況指数は「70」で作柄は「かな

7事業者には165万円の給付を行いました。運転資金の一部や家賃などに利用でき、事業継続の一助になるとして、感謝の声寄せられているところでもあります。

■第50回かなやま湖湖水まつりについて

本年度のかなやま湖湖水まつりにつきましては、第50回目の記念すべき開催でありましたが、現在の新型コロナウイルス感染症の影響により、宣伝等は行わず、キャンプ場利用客と町民を対象に、7月10日から9月19日までの10日間を開催日として実施してきており、現在まで6日間のイベントが終了しているところであります。



ライブイベント (石上久美子さん)

イベントでは、アウトドア体験・ライブイベント・打り不良」と判断されております。なお、9月1日現在収穫の終えてない作物については、今後の気象経過を注視する必要があると報告を受けているところであり、ご報告申し上げます。

■国営農地再編整備事業の進捗状況について

下金山及び金山地区で計画しております。国営農地再編整備事業については、本年度を最終年として地域整備方向検討調査が実施されております。

本年3月8日には、国営事業「富良野南富地区事業促進本部期成会」が設立され、6月30日には、ふるの農業協同組合及び空知川上流土地改良区、上川農業改良普及センターから事業の必要性に関する意見書の提出がなされ、現在、北海道知事を経由して北海道開発局長に対し、調査採択申請を行い、8月31日概算要求に盛り込まれたところであります。

本地区の整備計画概要については、地区面積が2,243ヘクタールでありまして、水田の大規模化や暗渠、除礫、客土、用排水整備など土地改良事業が計画され、全体事業費約40億圓が見込まれており、令和8年度の事業着手を目指しているところであり、

上げ花火等を実施いたしてありますが、7月24日と8月7日に開催いたしました。南富良野町観光大使でもあります。本町出身歌手でデビュー35周年を迎えた、石上久美子さんと道内活躍しているタレントによるライブステージは、町内及びキャンプ場利用客、約1,300名が訪れる中開催され「日頃、コロナ禍で沈んだ気持ちをアウトドア体験やライブステージ、打上げ花火等を楽しむことができて、大変癒される良い機会になった」などの声もいた、嬉しい時間をご過ごしていただけたと思っております。

また、イベントでは新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、手指消毒をはじめ、ソーシャルディスタンスを図る観点からキャンプ場利用客を予約制として人数制限を行うほか、国の接触アプリへの登録要請を行うなど、イベント開催時のガイドラインを遵守し実施してきており、本日まで1名の感染者も出ることなく開催しております。

現在は、8月27日から北海道に3回目となる緊急事態宣言が発せられました。この間のイベントについては中止しておりますが、9月18・19日に予定しておりますイベントについては、

教育長の教育行政報告



■令和3年度全国学力・学習状況調査について

中学3年生と小学6年生を対象に5月に行いました全国学力・学習状況調査の結果を報告いたします。本町の結果は、全国平均と全道平均との比較では、中学生は国語・数学ともに全国平均並びに全道平均を上回る結果となりました。小学生は国語・算数ともに全国平均を下回りましたが、内容的には正答数で1問に満たないわずかの差であり、全道平均は上回る結果となりました。

今回の調査結果をもとに検証改善サイクルの確立を図り、児童生徒一人ひとりに確かな学力を身に付けさせるための組織的・継続的な質の高い取組を進めてまいります。

取東の見えないコロナ禍における小中学生の活動状況であります。昨年度に引き続き、小学生によるJRの体験乗車を行いました。この体験乗車は、小学校で連携し、南富良野小学校では7月6日に3・4年生26人が東鹿越駅から山部駅まで乗車し、並びに7月20日に特別支援学級14人が東鹿越駅から富良野駅まで乗車、南富良野西小学校では9月6日に1年生から4年生までの17人が下金山駅から山部駅まで乗車し、初めてJRに乗車する児童もおり、貴重な体験になったとともに、地域における公共交通機関の必要性などを学ぶ機会になったものと考えております。

また、昨年度は感染症予防の観点からプール授業については中止となりましたが、本年度は利用前の手指消毒をはじめ、感染リスクの高い更衣室での利用人数の制限やロッカーの間隔を空けての使用、プール内でのソーシャルディスタンスを十分にとり、密にならないよう指導を行い、使用後の施設や使用された用具の消毒を含め、感染予防を徹底する中で、6月末より授業でのプール開放を行い、課後の今年も猛暑もあり、多くの子どもたちが利用されております。

緊急事態宣言や感染状況等を考慮した上で、開催の可否について決定していかたいと思っております。

かなやま湖湖水まつりの開催にあたり、ご苦労をいただいた関係機関の皆様並びに深いご理解ご賛同をいただいた皆様、改めて感謝とお礼を申し上げます。

■建設工事の進捗状況について

本年9月1日現在の町発注工事の進捗状況であり、注工事が完了した金山東団地屋根外壁塗装工事は完了し、幾度東団地改修工事は順調に工事が進められていくほか、土木工事の東幾度線改良工事及び舗装工事についても、工期内に完了する見込みで工事が進められています。衛生設備工事は北落合除雪管理センタートイレ改修工事は完了し、各地区メーター器定期取替工事、北落合地区簡易水道配水管布設替工事及び保健福祉センターポイラー取替工事についても、順調に進められております。

また、農業土木工事の農地耕作条件改善工事及び道の駅関連工事の道の駅を核としたまちの賑わい拠点整備に伴う各種工事につきましても、順調に進められております。

また、日本下水道事業団に委託している南富良野浄化センター他更新工

また、小学6年生の修学旅行につきまじは、9月9日から1泊2日の日程で「ウポポイ」などを見学する予定でありましたが、新型コロナウイルスの状況が踏まえ、児童の健康と安全安心を第一に考え、12月の実施に向け延期したところでありました。南富良野中学校での学校祭は、観覧者は町内の家族に限定するなど感染対策を講じ予定どおり9月11日に実施いたしました。

また、1人1台のタブレットを使い、児童生徒は学習活動用ソフトウェアの活用により、インターネット検索による調べ学習をはじめ、設問回答の内容や作成した資料などを電子黒板に撮影し、画面を見ながら発表するなど、各教科において積極的な活用に取り組んでいるところであり、夏休みには自宅に端末を持ち帰り家庭学習などにも活用で行っております。各学校では、感染症の影響による臨時休校や出席停止のため、やむを得ず登校できない児童生徒に対し、ICT機器を最大限に活用して学びを保障する取組を進めるために、授業の進め方などの講習会を行っております。

構成する中体連上川南部地区の球技大会が各担当地区で開催され、南富良野中学校からソフトテニス、卓球と近隣中学校と合同で編成した野球・バレーボールの計4種目に出場しました。団体戦において卓球部男子の部で予選を勝ち抜き、決勝トーナメントに進出し第3位と健闘いたしました。

また、7月18日に富良野市で開催された北海道卓球選手権大会予選会において、個人シングルス学年別で、2年生男子が第3位と第4位にそれぞれ入賞し、3名が全道大会の出場権を獲得しました。9月5日に苫小牧市で開催された全道大会では、2年生男子1名が4回戦で惜しくも敗退しましたがバスト16と健闘いたしました。

南富良野高等学校では、7月25日に苫小牧市において開催されたジュニアカヌー1スプリント選手権大会において好成績を収めたことから、1年生男子3名が北海道代表選手として選ばれ、10月1日から三重県松阪市において開催される第76回国民体育大会カヌー競技に出場することになった。おりまして、残念ながら新型コロナウイルス感染症のまん延により、大会が今年度に続き本年度も中止となったところでありました。

措置区域に北海道を追加いたしました。北海道教育委員会は、感染力の強いデルタ株による感染が、児童生徒に広がっていることを踏まえ、全道域を一律に最高レベルの行動基準とし、感染対策を行うこととしたしました。教育委員会では、衛生管理マニュアルに基づき学校と連携し、健康観察及び手洗い、マスクの着用、換気などの基本的な感染予防対策の徹底を図り、外からウイルスを持ち込ませない取組を行い、子供たちと学びを守るための一層の強化に努めてまいります。

■1日防災学校等の実施について

8月31日の南富良野町防災の日には各小中高等学校において避難訓練や1日防災学校を実施いたしました。1日防災学校は、毎年、全国各地で大規模な自然災害が発生し、その被害の程度も激甚化の一途を辿る中、児童生徒一人ひとりが防災・減災行動をとる生きる力の向上を目的とし、令和元年度から継続的に取り組んでおります。特に本年は、本町が大変大きな被害を受けた豪雨災害から5年目であり、南富良野高等学校において初めて実施いたしました。



1日防災学校 (南富良野高校)

良野西小学校では、全学年を対象に命を守るための正しい避難行動を身につけさせるために避難訓練を行いました。南富良野中学校では体育館が避難所になったと想定し、段ボールベッドや避難所用テントの組立体験や感染症を考慮した避難所の運営についてワークシヨックプを行い、昼食時には災害用非常食の試食を行いました。

南富良野高等学校では災害時に高校生ができること、やらねばならないことを学ぶ一日として炊き出し訓練と、守られる立場から守る立場へと題して防災マネージャーから講話を受けました。炊き出し訓練では昼食用として、生徒がおにぎりや豚汁を作り、西町の3階建公営住宅に居住している

また、1年生男子3名と2年生男子1名が8月17日から福井県あわら市で開催された、全国高等学校総合体育大会カヌー競技に出場いたしました。結果は、カヌー2人乗り並びにカヌー4人乗りとともに予選敗退となりましたが、今年4月から入部した生徒で経験も浅く、今後の活躍を期待するところであります。

■南富良野高等学校の事務事業等の取組について

南富良野高等学校の事務事業等の取組について報告いたします。

昨年度は中止となりまして学校祭は、今年度は、一般公開は行わず規模を縮小し、予定どおり7月3日、4日に実施し、生徒たちは高校生活の一大行事である学校祭を楽しんでおりました。

見学旅行については、3年生は昨年度関西方面に訪問予定だったものが中止となり、今年7月に東北地方へ訪問することで計画しており、今年7月に東北地方ウイリスのまん延により延期とし、今後、大学受験や就職試験の日程を考慮すると道外への訪問は難しいと判断し、道内での実施を検討することになりました。

2年生は、10月に関西方面への訪問を計画していましたが、現在の感染状況を踏まえて実施時期及び訪問地域を



見学説明会

再検討することになりました。介護職員初任者研修につきましては、生徒8名から受講申込みがあり、夏休みを利用して実技講習が冬休みに延期となりました。

次に、令和4年度の生徒募集の取組につきましましては、アウトドア活動を学校設定科目とするなど、さらなる魅力づくりに取組むとともに、学校のPR活動の強化に努めております。7月に富良野沿線及び新得方面の中学校訪問を行い、8月20日に見学説明会を開催し、町内をはじめ富良野沿線や新得町、遠くは恵庭市、白老町から中学生30名と保護者など21名の参加をいただきました。説明会では、生徒による学校紹介や本年度から始まりましたアウトドア活動のプレゼンテーション

高齢者宅へ届けました。さらに、近隣の千木町と朝日町に居住されている方に案内をし、体育館におきましておにぎりや豚汁を食していただきました。また、中学校・高等学校ともに、災害により断水になったというシナリオのもと行い、その際、避難所までの救援物資の輸送及び搬入や給水支援を上富良野駐屯地第14施設群に協力をいただきました。

今後平成28年の豪雨災害を教訓として、防災の日には、感染症対策を踏まえた意識の高揚を図る継続した取組を実施してまいります。

■児童生徒の夏休み期間中の自然体験事業等について

新型コロナウイルス感染症の影響により、家庭で過ごすことが多くなっている状況を踏まえ、夏休みを利用し、児童生徒が元気になる自然体験事業を実施いたしました。7月27日から29日までの3日間においては、町内アウトドア事業者の協力をいただきながらラフティンング体験を行いました。

参加児童生徒106名と教員30名がサポータースタッフとして同乗し、約6.5キロのコースを1時間半で下り、途中豪雨災害の爪痕を確認し、急流を下るたびに

シヨン動画の視聴、生徒との座談会や1人1台のタブレットを使ったICT機器の体験授業などを行いました。また、参加した中学生30名にアンケート調査を行いました。南富良野高等学校の魅力だと感じたことは「何ですか」という質問に対して、多い順に主な回答として、①少人数指導がよい②各種助成制度が充実している③カヌー部やカヌー部が楽しい④アウトドア授業が楽しい⑤「進学先の高校を選ぶ上で重視したいポイントは何ですか」という質問に対しては、①希望する部活動がある②学校のイメージ③登下校の利便性④楽しい学校行事がある、という結果でありました。少子化に伴い中学校卒業生数が減少し、富良野地域の4つの高等学校すべてで欠員が生じており、近隣からだけの子生確保は難しい状況にあることから、PR活動の強化として8月に札幌市内の中学校76校を訪問し、3年生14,500人分、また旭川市内の中学校22校を訪問し3年生2,600人を配分する学校パンフレットを配付するとともに、遠方から入学に備える方に協力をお願いし、住まいの確保も進めたいとします。少子化とコロナ禍という大変な局面にありますが、入学者確保

大きな歓声が響き渡りました。また、7月26日と8月5日には、放課後子ども教室で、金山小果樹園においてブルーベリーの摘み取り体験を行い、その後管理棟で、ジャムとホットケーキ作りを行い、新鮮な季節の味わいを体験しました。

7月30日からは、夏休み期間中の家庭教育を支援する取組として小学生を対象に「子ども朝活事業」を行い、昨年度各学校に導入しましたタブレットを活用し1・2年生の低学年はローマ字入力、3年生から6年生は、チームズのソフトウエアを使った操作の習得を、南富良野高等学校ボランティヤ部や中学校教員にサポートスタッフとして協力いただきました。

また、本町の子どもたちの体力テストで全国平均より劣っている、走り・跳ぶ力・柔軟の3項目に着目し、講師より指導を受け、走る姿勢や跳ぶ姿勢など、からだ全体を使って行う動作を習得する事業を実施いたしました。

■南富良野中学校・高等学校の部活動大会成績について

南富良野中学校・高等学校の部活動大会成績について、去る6月25日から上川管内の13市町村に努めてまいります。

次に、大学進学に向けた学力向上の取組につきましましては、小さな学校でも希望する国公立大学や私立大学への進学を叶えるため、放課後講習や夏休みの集中講習を行い、学力向上を図るとともに、昨年度、道立高校に先駆けて配備した生徒1人1台のタブレットを活用しオンライン学習動画の視聴やWebテストなどに取り組めるeラーニングシステムを活用し、生徒一人ひとりに応じた学習を進めてまいります。また、学力向上のために、教員の指導力向上が欠かせないことから、教科ごとの研修会などへ積極的に参加し、教師の資質能力の向上に努めてまいります。

■大学生等支援臨時給付金の支給状況について

コロナ禍における本町出身の大学生や専門学校生などに対する生活及び学業継続を支援するため、本町独自の事業として9万円を支給する大学生等支援臨時給付金事業の支給状況であります。7月1日から町広報紙やホームページにより、周知を行い受付を開始し、既に給付金対象見込み者61人全員から給付申請があり、7月分から随時給付を開始しているところであります。

まちづくり観光協会組織体制の拡充に向けた要望書（10月14日）

NPO法人 南富良野まちづくり観光協会（岩永かずえ理事長）は、「組織体制の拡充に向けた支援についての要望書」を池部町長に提出しました。

要望書は、「道の駅を核とした町の賑わい創出事業」により、雇用創出、定住人口や交流人口の増加及び町内アウトドア事業者の拠点施設として、新たな魅力づくりの出発点となる可能性を秘め、同協会が果たす役割も大きくなることが想定されるほか、イベントの企画や情報発信、本町の観光事業者等をマネジメントする中心的な役割を担うため、組織体制の拡充に向けた人員増を要請する内容であります。

町では、観光産業の発展は重要な施策であることから、本要請を受け関係機関と協議し検討いたします。



農産物直売所作倶楽感謝祭（10月17日）

下金山地区の農産物直売所「作倶楽」が、今シーズン5ヶ月間の最後の営業を行いました。

午前9時の開店前から多くの買い物客が訪れ、駐車場に設置された屋外売店には、玉ねぎやじゃがいもなど多くの種類の野菜やはくちょう米などが並びました。

また、100円でのトマトの詰め放題や作倶楽の名物おはぎ、赤飯も大人気であり、買い物をされた方の先着100名には、かぼちゃ1玉が配られ、訪れた皆さんは感謝祭を楽しんでいました。



金村 萌絵さんが教育委員に再任

金村萌絵さん（落合）が、引き続き教育委員に任命されました。

金村さんは、9月13日から開催されました第3回町議会定例会において、同委員の任命の同意を得まして、10月1日付で辞令が交付されました。

任期は令和7年9月30日までの4年間です。



このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。

カメラレポート CAMERA REPORT

稲刈り体験で先人の苦労を体験（9月22日）

南富良野西小学校の児童は、春に田植えを行った「はくちょうもち」の稲刈り体験を、下金山地区の永井洋平さんと下金山老人クラブの協力のもと行いました。

児童は、永井さんや老人クラブの皆さんから稲刈りの仕方や鎌の使い方などの説明を受け、黄金色の稲を丁寧に刈り取っていました。

この体験授業は、春の田植えから、秋の稲刈り、脱穀作業、最後には餅つきの体験を行い、1年を通じて地域の農業について学んでいます。



スポーツの秋 フロアカーリング大会（10月2日）

みなみふらのSHCクラブゆっく主催による町民フロアカーリング大会が町民体育館で行われ、地域愛好者で編成された5チームが参加しました。

競技は、4人1組のフォースの部と2人1組のダブルスの部に分かれ、カーリングストーンの代わりに車輪の付いた木製フロッカーを使って行われ、選手の皆さんは、一投ごとに歓声が沸く熱戦を繰り広げていました。



森林環境学習の実施（10月6日）

南富良野小学校3年生の児童15名が上川総合振興局南部森林室や町森林組合、町産業課の各職員の指導により森林環境学習を行いました。

森林環境学習では、町有林でチェーンソーによる伐採現場を見学し、伐採の迫力や樹木の重さや大きさを知ることができたほか、実習では実際に、のこぎりを使用して、木を切りパンを作る作業が行われ、林業について学ぶことができました。



学校教育係・生涯学習係
☎52-2145

教育委員会通信

お待たせしました！カーリング場オープン

11月1日（月）より空知川スポーツリンクスがカーリング場になりましたので、南富良野町の特色を活かしたスポーツであるカーリングをお楽しみください。

カーリング場の期間は

令和3年11月1日（月）～令和4年4月10日（日）

開館時間 9時00分～21時00分



カーリング場

令和3年度の主な大会

- ・11月20日（土） 第8回ゆっく南ふらのカップカーリング大会
- ・11月27日（土）～28日（日） 第22回道新杯南富良野ジュニアカーリング大会
- ・12月13日（日）～2月末 第28回町長杯カーリング大会（夜のリーグ戦）
- ・3月5日（土）～6日（日） おさだグループ杯U-12カーリング大会2020
- ・3月19日（土）～20日（日） 第2回なんぶスキズゲームカーリング大会

「ちょこっとカーリング」

皆さんの練習に、協会の指導者を派遣いたします。希望者のご都合をお伺いしながら練習日程を決め、投球の基礎やルール、作戦など、丁寧に指導をいたします。3名以上のグループから、30分単位で練習指導のお申込みが可能です。（参加料無料）

詳しくは、南富良野町カーリング協会（TEL 53-2171）へお問い合わせください。

令和3年度の空知川スポーツリンクスの整備状況

- ・トイレの洋式化を行いました。
- ・リンクカメラの増設を行いました。観覧席及びミーティングルームでハウスの状況をご覧いただくことができます。
- ・老朽化したリンクシートの入替を行いました。



ミーティングルームのモニター

○利用を希望される方は

空知川スポーツリンクス 指定管理者：特定非営利活動法人どんころ野外学校

TEL 空知川スポーツリンクス 53-2449

どんころ野外学校 53-2171

へ連絡をお願いします。

南富高新聞

第54号

発行

南富良野高等学校

新体制開始！教員も向上を

10月になり、学校の活動も半年が過ぎました。ここまで、大きな事故等もなく無事に学習や部活動等を実施していますが、コロナやインフルエンザ等の感染症には引き続き予防の取組に力を入れていきたいと思っています。

さて、生徒の代表組織である生徒会の役員選挙が行われ、5日には会長をはじめ各役員に認証書を渡す「役員認証式」が実施されました。生徒の総数が少ないため、生徒会の役員も3名という少人数体制ですが、他の生徒の協力も得



所信表明を述べる新会長（2年阿部くん）



学力向上講習・意見交流会の様子

ながら、行事等の成功に向け頑張りたいという所信表明も行われました。

生徒の頑張りを支えるためにも、教員の資質向上を目指し「学力向上の研修会」が7日・8日に、町内小学校・中学校とも連携し実施されました。高校では、1年生の数学の授業を実施し、その後、学習会を開き、今後の指導に役立てるために意見を交換しました。3年生の就職試験がすでに始まり、専門学校への進学試験、大学試験が今後予定されています。我々教員も、すべての生徒の第一希望を叶えるため、日常の授業の大切さを改めて胸に刻み、今年度の残りの期間を邁進しようと決意を固めることができました。

シリーズ学校だより(224)

各学校の取り組みを紹介します。

▶▶南富良野中学校▶▶

心豊かに学ぶ

8月17日から2学期が始まり、生徒たちは日々の学習や学校行事等、それぞれしっかりと目標をもって生活しています。

特に9月11日に行われた学校祭に向けて、とても活発に練習や準備を進めている様子が見られました。各学年のステージ発表や代表生徒による意見発表、英語暗唱発表など、より良いものを見ていただけるよう工夫し、繰り返し練習を重ねていきました。全校生徒による合唱発表に向けては、新型コロナウイルス感染症対策のため、全体練習の回数や時間を制限し、練習方法も工夫せざるを得ませんでした。そんな中でも生徒たちは、心がこもった合唱となるよう、短い練習時間に集中して取り組み、映像での発表となりましたが、練習の成果を発揮することができたのではないかと思います。また、実行委員会のオープン



1年生の劇



3年生の劇

グ・エンディング、野球部や1年生女子5人有志によるダンスの発表など、会場を盛り上げようと楽しい動画を撮影し、上映しました。当日は、保護者の方のみの観覧となり、今年も地域の皆様にご覧いただくことができました。来年こそは多くの方に楽しんでほしい、生徒たちの成長ぶりを見ていただきたいと思っています。

この他、2学年では9月17日に「職業体験学習」を実施しております。一日仕事を体験して来たる姿を重ねて見て、それぞれの職業観を育む「キャリア教育」につなげることができました。ご協力くださった町内の各事業所の皆様、ありがとうございました。

今後、行事や様々な学習活動で得られた成果をもとに、教職員一丸となり、生徒の成長につながるよう努力して参ります。

子育て支援センター「ぷっこ」だより

～☆☆明るく元気な子にそだちますように☆☆～

☎52-2315
☎090-5985-4339

子育て支援センター

朝晩の気温差が大きくなり、少しずつ風が冷たく感じてきますね。
秋といえばぶどうやなし、おいもやかぼちゃなど、おいしい季節です。夏の陽ざしをたっぷり浴びたおいしい果物や野菜を食べて、元気に過ごしましょう！



☆0歳・1歳ぷっこ

お母さんが赤ちゃんの体をさすったり、歌に合わせて手足を動かし、ふれ合いあそびで赤ちゃんもごきげん！



☆ぷっこクラブ (ミニ運動会)

よーいどん！で走ったり、親子で積み木を積んだり。最後までがんばり金メダルをもらいました。



☆ぷっこクラブ (秋の製作)

お散歩で拾ってきた落ち葉で貼り絵をしました。何に見えるかな？秋を感じながらハイチーズ！



☆出張落合支援センター

6カ月の赤ちゃんも初参加。2歳のおともだちと交流し、ほのほのとした時間になりました。

保育所の元気な子どもたち

幾寅保育所

9月に幾寅保育所のひまわり組さんでは、保育所の畑で育てたジャガイモを使って、いももち作りを行いました。園児は、生地を伸ばし丁寧に形を整えホットプレートで焼き、いももちを完成させました。自分たちで作ったいもちは、格別な味で笑顔いっぱいでした。



金山保育所

金山保育所の園児は、和楽園を利用しているおじいちゃん・おばあちゃんへ、自分たちで作ったお花のカードをプレゼントしました！園児の丁寧に作ったカードを貰ったおじいちゃん・おばあちゃんは、とても嬉しそうに笑っていました！



しょうぼう広報 ほのお

富良野消防署南富良野支署
☎52-2119 FAX52-2979
✉fs-nanpu@vesta.ocn.ne.jp
災害案内 ☎52-3119

いざというときの119番通報

119番通報は、火災・救急・救助を要請する一刻一秒を争う非常事態です。通報者が動揺しうまく伝えられない場合や、通報内容が曖昧だと消防車や救急車の出動が遅れてしまいます。いざというときには、落ち着いて必要な情報を伝えてください。

【火災の場合の通報 (例)】

消 防	通 報 者
	(119番)
消防です。火事ですか、救急ですか。	火事です。
火災現場の住所を教えてください。	幾寅 (落合、北落合、金山、下金山、東鹿越) ○○です。
何が燃えていますか。	居間のストーブが燃えています。 (何が燃えているか具体的に伝えてください)
通報者のお名前と電話番号を教えてください。	○○ ○○です。 電話番号は○○-○○○○です。
分かりました、消防隊が向かいます。	

【救急の場合の通報 (例)】

消 防	通 報 者
	(119番)
消防です。火事ですか、救急ですか。	救急です。
救急車が向かう住所を教えてください。	幾寅 (落合、北落合、金山、下金山、東鹿越) ○○です。
どうしましたか。	○○が突然倒れ、意識がありません。 (誰が、どうしたのかを伝えてください)
通報者のお名前と電話番号を教えてください。	○○ ○○です。 電話番号は○○-○○○○です。
分かりました、救急隊が向かいます。	

※町内で携帯電話から119番通報すると富良野消防署に繋がります。
「南富良野町で火災または救急です。」と伝えると南富良野支署に転送されます。



南富良野支署 119番受信状況 (訓練、点検含む)		
平成30年	令和元年	令和2年
1,627回	1,597回	1,607回

11月9日は119番の日です



男性・女性消防団員募集
消防団に関することは消防係まで



南富良野支署出動件数 (令和3年1月1日～9月30日)

- 救急出動 63件 (うちドクターヘリ要請件数 8件)
- 火災出動 3件 (うち他市町村応援出動 2件)
- 救助出動 3件

地域貢献活動

10月15日（金）に、道北電気工事業協同組合富良野支部（山下 英治 支部長）による地域貢献活動として、かなやま湖畔キャンプ場の駐車場に設置している街路灯の清掃を実施していただきました。

当組合の活動に感謝申し上げます。



寄附・寄贈

次の方々から寄附・寄贈がありました。皆さんのご厚志に対し紙上をもって厚くお礼申し上げます。

○富良野市 後藤 宗男 様
○富良野市 松本 好子 様
○富良野市 新田 薫 様

一味園・からまつ園・ごぎょう園・

○音更町 谷 節子 様

ふくしあへ

○名寄市 名寄市立大学 様

○幾 寅 幾寅婦人会 様

○札幌市 佐藤 喜代美 様

○幾 寅 高橋シヨビングスター 様

○札幌市 佐藤 美喜子 様

○幾 寅 榎吉岡建設 様

○札幌市 津田 勝明 様

○幾 寅 新谷 昭子 様

○小樽市 前北 啓子 様

○下金山 石川 幸則 様

○神奈川県 三浦 智恵子 様

○下金山 小蕎 重一 様

○下金山 小蕎 寿子 様

○富良野市 ヘアーサロンナカオ 様

○富良野市 大波 正夫 様

☆お誕生おめでとう

金山 松川 果^か歩^ほ

令和3年9月10日生まれ

★お悔やみ申し上げます

金山 津田 マサ子(96)

令和3年9月20日逝去

南わたしたちのまち

(令和3年9月末日現在)

人口 2,363人(△2)

男 1,202人(0)

女 1,161人(△2)

世帯数 1,329戸(△1)

() 内は前月比